

令和 4 年度 福島大学基金研究推進事業助成による成果報告書

2022 年 5 月 25 日

学 長 殿

所属部局・職名 人間発達文化学類 准教授

申請者名 高橋 優

助成の区分 (該当するものに○)	学会参加助成
事業名	Internationale Novalis-Gesellschaft
成果の概要	<p>ドイツ・ロマン主義を代表する詩人ノヴァーリス(1772-1801)の生誕 250 年を記念するシンポジウムに参加、招待講演を行った。ノヴァーリス研究において従来取り上げられることがほとんどなかった「狂気」のモチーフが、初期ロマン主義の「新しい神話」プログラムの重要な動機となっていること、そして後期ロマン主義時代のブレンターノ、クライストへと受け継がれていることを明らかにした。</p> <p>世界を代表するノヴァーリス研究者 22 人が講演を行った。日本から招待を受けたのは私の他、長年世界の第一線でノヴァーリス研究を行って来た中井章子青山学院女子短期大学名誉教授の二名のみである。講演内容は美学、歴史学、鉱物学、動物・植物学、受容史、詩学、医学など極めて多岐に渡り、講演を聞くだけでなく、講演者と直接議論をすることで今後の自らの研究に対する大きな示唆を得ることができた。</p> <p>また、講演はハイブリッド形式で行われ、全世界のロマン主義文学研究者に自分の名前と研究内容を知ってもらおう大変貴重な機会となった。</p> <p>講演内容は、Internationale Novalis-Gesellschaft が発行する機関誌 <i>Blütenstaub. Jahrbuch für Frühromantik</i>, Bd. 8 に収録される予定となっている。</p>